

道路・交通

自転車の規制は罰則の前に
ルールとマナーの徹底した啓発を

川川 浩議員(公明) ①自転車レーンでのこれまでの具体的な取り組みは。

②ルールとマナーの徹底した啓発活動として、ルネこだいら前と自転車レーンを使って自転車安全教室を実施できないか。

市長 ①市報等による左側通行の呼びかけ等のほか、小平警察署にはレーン設置区間における違法駐車対策をお願いしている。

②公道を使って実施することは計画していないが、関係団体等との連携を密にして効果的な啓発活動を検討していく。

危険な道路に一日も早い対応策を

津本裕子議員(公明) ①都道の安全対策について都と市はどのような連携を行っているか。

②小金井街道の西武線以北、青梅街道の小金井街道より東側は歩道が狭く、都に対策を講じるよう働きかけるべきでは。

市長 ①市道と都道が接続している箇所については利用者の要望に応じて都及び交通管理者と協議し、安全対策を講じている。

②青梅街道や東京街道等の歩道が狭い箇所については拡幅等を要望してきたが、当該箇所についても検討して働きかけたい。

試行運行開始から1年のぶるべー号栄町ルートについて

常松大介議員(フオ) ①実験運行と比べて大きく利用実

績が伸びているが、その要因をどう分析しているか。

②栄町ルートは今年度もさらなる乗車人数の増加が予測されるが、対策はあるか。

市長 ①アンケートの実施や乗降データの分析をし、経路や停留所の位置を一部変更したことで、より地域のニーズに合ったものになったと分析している。

②定員を超える場合は、予備車両を走らせて対応している。

▲コミュニティタクシー
栄町ルート(ぶるべー号)



ルート変更後のぶるべー号大沼ルートのその後の状況は

常松大介議員(フオ) ①西行きと東行き双方が停車する停留所で、利用者が困惑しないための措置はとられているか。

市長 ①乗車時に運転士がおりる停留所を確認し、乗り間違いがないよう対応している。

②大沼公民館・図書館から小平駅入口までの乗車時間が約5分であるのに対し、小平駅入口から大沼公民館・図書館までは昭和病院を経由するために約25

分かっていたので、利用者の利便性を向上させるためにルートを変更した。

通学路の安全対策について

山岸真知子議員(公明) ①通学路の安全性の調査・点検を改めて実施すべきではないか。

②小平警察署等に通学路での安全パトロールを要望しては。

市長 ①1年1回、点検実施の意向を確認し、希望のあった市立小学校で実施している。

教育長 ①毎年確認を行う際に危険箇所や希望する対策についての調査表を提出してもらい、関係課に対応を依頼している。

市長 ②人員の関係で継続的対応は難しいが、学校との共同キヤンペーンのような形であれば検討したいとの回答があった。

第十二小学校周辺の通学路のさらなる安全対策を

立花隆一議員(公明) ①十二



▲小平第十二小学校の通学路

小通りにおける通学時間帯の車両の通行は規制できないのか。

②小川町一丁目土地画整理事業地内の通学路の安全対策は。

市長 ①指導や取り締まり等は交通管理者の権限であり、小平警察署では、住民等から具体的な要望があれば関係機関と協議した上で検討すると聞いている。

教育長 ②工事期間中は保安員の配置等により、都市計画道路の一部開通後は通学路となる道路への歩道の設置や路側帯表示により安全の確保を図っている。

産業・暮らし

改正入管法施行に伴う外国人住民への影響について

岩本博子議員(生ネ) ①特別永住者への対応はどう変わるか。

②これまで外国人登録ができた非正規滞在者への影響は。

市長 ①外国人登録証明書にかわって特別永住者証明書が交付される。記載事項の変更等の手続は引き続き市の窓口で行う。

②改正住民基本台帳法では、法施行日以後も行政上の便宜を受けられるよう必要な検討を加え、その結果に基づいて必要な

広く産業振興や地域活性化施策も担える可能性があると考ええる。

②今年度策定する小平市観光まちづくり振興プランの検討過程では選択肢の一つに入ってくるものと考ええる。

自治会のあり方について

川里春治議員(政和) ①自治会の会員加入率は低いと言われているが対策は。

②地域活性化のためには自治会が学校や公民館と協力、連携する必要があるがどうか。

市長 ①平成23年9月時点の加入率は41・8%で、前年度から0・5ポイント減少しており、対策としては新たに自治会ハンドブックとパンフレットを作成し、窓口等で配布していく。

②自治会と他の地域団体が一つの地域組織として地域を担う仕組みが必要と考えており、モデル地区を設定して地域とともに検討していく。

産業振興のために住宅リフォーム助成の実施で経済の好循環を

細谷 正議員(共産) ①産業振興の視点も含めて住宅リフォーム助成制度を検討できないか。

②耐震金具取り付け助成の開始を検討できないか。

市長 ①今後、住宅リフォームに係る助成制度の拡充を図っていく場合には、その施工について極力、市内業者に限定するなどの産業振興の視点は必要と考えている。

②平成21年度から実施した家具転倒防止器具助成事業において市内世帯数の10%としていた支給目標を達成できたので、今

後の助成事業は考えていない。空き店舗を活用してまちのにぎわいと支え合いを創出しよう

津本裕子議員(公明) ①小平ブランドの常設販売所をつくるべきと考えられる見解は。

②空き店舗を活用した待機児童解消策として共同実施型家庭的保育事業を実施できないか。

市長 ①ブランドの認知度を上げるには有効な手法であり、小平商工会が開設することになった場合には積極的に支援したい。

②既存の小規模な建物を活用できるので迅速に実施できる対策の一つだが、都内での実施事例が少なく研究すべき点もあるため具体的な検討はしていない。

市民ニーズに合った動く市役所の活用を

幸田昌之議員(公明) ①現在の巡回会場以外の公共施設や都営住宅の集会所等でも実施できないか。

②さまざまな地域へ巡回すべきと考えられる見解は。

市長 ①現在の動く市役所の機能を維持しながら巡回会場の変更を検討している。

▲動く市役所の受け付けの様子(上水南公民館会場)



更や日程等を再検討し、より良い市民サービスを受けられる方法を考えていく必要がある。

②東部・西部出張所、証明書自動交付機、土曜窓口の開庁等により総合的に利便性の向上を図る中で判断していきたい。

公園用水

玉川上水南側歩道のその後と職員の意識改革について

吉池たかゆき議員(みな) ①当該歩道の繁茂した草に閉じ、北多摩北部建設事務所への要望は。

②建設事務所の迅速な対応についてどう思うか。

市長 ①利用者の安全確保のために依頼し、本年2月頃にも除草がされていたので、状況は把握されていると判断している。

②施設管理者として利用者の意見や要望に耳を傾けた対応であり、市でも引き続き各施設管理者との連携を図り、市民の声に耳を傾けながら迅速な対応に努めたい。

市の歴史を伝える屋敷林等の保存について

小野こういち議員(政和) ①保存樹木を解除する主な理由は。

②街道沿いの多くの屋敷林が失われているように思うが、保全対策には何かあるか。

市長 ①開発行為や家の建てかえ、近隣からの苦情による伐採等が理由で、基本的には所有者の意向を尊重して対応している

が、苦情等の場合には間に入って問題解決に努めている。

②剪定費用の一部補助のほか、枝落ち等で家屋や第三者に損害を与えた場合の保険を掛けている。また税制上の優遇措置を講じるよう国等に要望している。



▲東京街道沿いの緑

用水路について

川里春治議員(政和) ①用水路の公図と現状の差を把握しているか。

②市への移管前に用水路上に建てられた建物に対する考えは。

市長 ①境界が確定されている箇所は把握しているが、その他の箇所は境界確定を進めながら把握に努めていく。

②所有者に対して移設や撤去をお願いしているが、長い歴史の中で生じたものと認識しており、用地の交換等も含め所有者と協議して解決に努めている。

掲載分以外の質問項目

【子ども・女性】

○公立保育園は福祉サービス第三者評価の結果を生かすべき